

第3章 関連文化財群の設定と取組方向

第1節 関連文化財群の設定

有形・無形、指定・未指定を問わず、地域に存在する様々な文化財を、歴史的、地域的関連性等に基づいて、一定のまとまりとして設定するものである。

津和野町は、山間に位置し、近世城下町をはじめとし、個々の集落が単独で周辺環境とあいまって特長ある文化的環境を形成している。文化財の特性を見いだす上において考慮すべきは、個々の文化財が集落内において相互に関連し合っ地域特性を示すもの（狭義性）もあれば、個々の文化財が他の集落の文化財と横断的に関連し合っはじめて価値をなすもの（広義性）も存在するものもある。

また、関連文化財群の設定においては、以下に示す基本的な考え方に基づき、①関連性、②テーマ性③意義・役割、④核となる文化財が明確となる必要となる。

こうしたことを踏まえ、津和野町においては、次のような基本的な考え方のもとに関連文化財群を設定する。

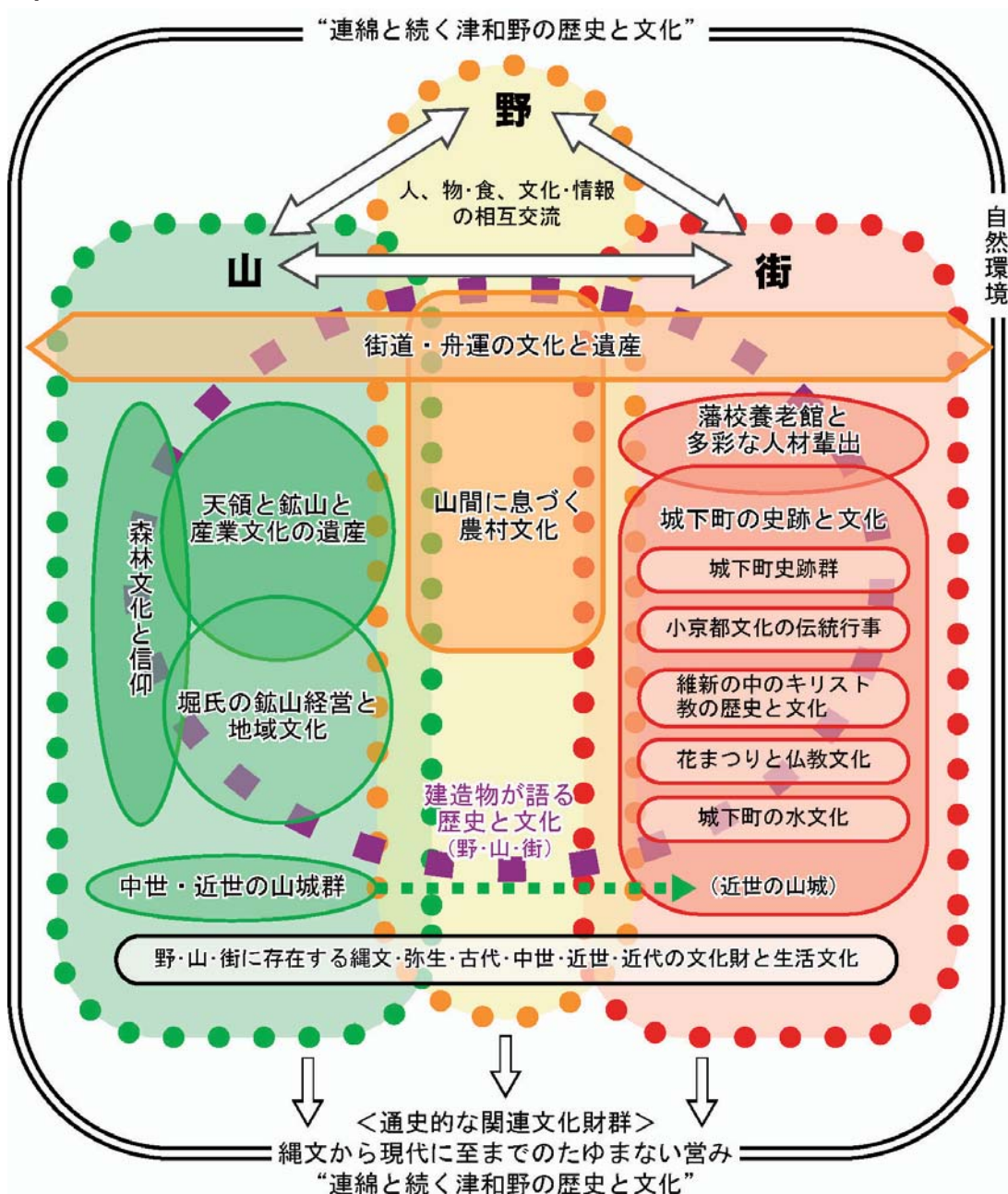


図1-3-1 関連文化財群のテーマと構成

<関連文化財群の設定の基本的な考え方（基準）>

- コンセプトとその背景に基づいていること
- 対象となる文化財が相互に歴史的な関連性を有し、その内容および価値が明らかなものであること。
- 指定（または登録）文化財または今後指定されるべき文化財を含み、かつ、関連する文化財を有すること。
- 共通する保存・活用のテーマ等が見いだせること。

表1-3-1 関連文化財群の設定（1/4）

関連性の視点（切り口） ～設定の考え方～	関連文化財群の内容（概要）		主な文化財 ★：核となるもの（指定・登録） ☆：指定等を目指すもの	
	関連文化財群 【名称（テーマ）】	意義・役割		
（主として） 街	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・人材育成、思想の面からのテーマ等の検討 ・人物によるテーマ等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■人材育成に関わる関連文化財群【藩校養老館と多彩な人材輩出】 	<p>現在も残る藩校養老館と、ここで学び近代日本の礎となった多くの人材やその関連する文化財について再認識し、保存・活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★藩校養老館 ★西周旧居 ★森鷗外旧宅 ★桜陰館（岡熊臣旧宅） ☆教授生誕地、墓所 ☆教科書・吉松家文書 ・孔子像 など
（主として） 山	<ul style="list-style-type: none"> ・城跡に関するテーマの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■城跡を中心とした関連文化財群【中世・近世の山城群】 	<p>全国的にも数少ない近世山城（津和野城跡）や地域に広がる数多くの中世山城に光を当て、城からみた歴史文化と津和野の特性を見だし、保存・活用する。</p>	<p><近世> ★津和野城跡（城郭、藩邸） <中世> ★津和野城跡 ★下瀬山城跡 ☆御嶽山城 ☆陶晴賢本陣跡 ・茶臼山城跡 ・中木屋城跡</p> <p style="text-align: right;">など</p>

注）■は広義の関連文化財群、□は狭義の関連文化財群



藩校養老館



西周旧居



森鷗外旧宅



桜陰館（岡熊臣旧宅）



津和野城跡



下瀬山城跡

表1-3-1 関連文化財群の設定（2 / 4）

関連性の視点（切り口） ～設定の考え方～	関連文化財群の内容（概要）		主な文化財 ★：核となるもの（指定・登録） ☆：指定等を目指すもの	
	関連文化財群 【名称（テーマ）】	意義・役割		
（主として）街	・城下町に関するテーマ等の検討 ※歴史文化保存活用区域と連携	■城下町に関わる史跡や建造物、民俗文化を中心とした関連文化財群【城下町の史跡と文化】	城下町に関わる史跡や建造物、民俗文化などを総体として保存・活用する。	※下記の5つの狭義の関連文化財群における文化財
	・近世城下町に関わる建造物や遺跡に関するテーマの検討	□近世城下町の史跡群【城下町史跡群】	近世城下町遺跡内（全域が周知の遺跡）にあって、現在までその遺構等を良好に残すもの（史跡）を関連文化財群として保存・活用する。	★藩校養老館 ★鷺原八幡宮流鏝馬馬場 ☆津和野神社 ☆弥栄神社 ☆高崎亀井家跡 ☆永明寺 ☆藩主亀井家墓所 ☆津和野藩邸瓦窯跡 など
	・民俗文化財に関するテーマ	□城下町の民俗芸能に関する関連文化財群【小京都文化の伝統行事】	小京都文化のひとつである祇園祭は津和野の特長であり、それらを一括して保存・継承する。	★弥栄神社の鷺舞 ☆弥栄神社 ☆お旅所 ・祇園祭縁起など関連資料 ・物見櫓（藩邸、多胡家など） ・御神幸ルート ・子鷺踊り ・輪くぐり神事 など
	・宗教に関するテーマ	□キリスト教と乙女峠祭に関する関連文化財群【維新の中のキリスト教の歴史と文化】	宗教の混在する津和野においてキリシタン弾圧の歴史は負の歴史。関連する文化財を一体として保存・継承する。	★カトリック教会 ★カトリック教会神父館 ☆乙女峠とマリア聖堂 ☆千人塚 ・キリシタン燈籠 ・巡礼の道 ・キリシタン関係資料 など
		□花まつりに関する関連文化財群【花まつりと仏教文化】	お釈迦様の誕生日を祝う宗派を超えた仏教文化を保存・継承する。	★永明寺（曹洞宗） ・常光寺（浄土真宗） ・光明寺（浄土宗） ・花まつりルート など
	・水に関するテーマ	□水に関する関連文化財群【城下町の水文化】	周囲を山に囲まれた街には水路が張り巡らされ、周囲の農村部とは異なる小京都としての独特の文化が育まれた。それらを一体として保存・活用する。	★亀井氏庭園 ☆永明寺庭園 ・藩邸庭園跡地 ・商家庭園 ・煎茶文化 ・汲み地（各所） ・取水口 ・鯉、花菖蒲 ・酒造りと井戸 ・和菓子作り ・石州和紙の製造 ・水田 ・雲海 など



鷺原八幡宮流鏝馬馬場



弥栄神社の鷺舞



永明寺



亀井氏庭園



カトリック教会

表1-3-1 関連文化財群の設定（3 / 4）

関連性の視点(切り口) ～設定の考え方～	関連文化財群の内容(概要)		主な文化財 ★：核となるもの(指定・登録) ☆：指定等を目指すもの
	関連文化財群 【名称(テーマ)】	意義・役割	
山 ・天領と鉱山と産業文化からのテーマ等の検討 ・堀氏に関わるテーマ等の検討 ※歴史文化保存活用区域と連携	■銅山とたたら場跡を中心とした関連文化財群 【天領と鉱山と産業文化遺産】	津和野の経済的基盤と産業文化を生み出した数多くの鉱山、たたら場を再認識し、守り、生かす。	<銅山> ☆笹ヶ谷銅山跡(坑道、製錬所跡、堀氏文書ほか関連資料) ・十王堂銅山跡 ☆日原銅山跡 ・成日照銅山跡 <たたら場> ★瀧谷たたら跡 ・上ヶ原たたら跡 ・どるぶちたたら跡 ・横道たたら跡 <関連文化財> ・製鐵関連資料 ・原田家墓所 ・銅山馬車街道 など
	■堀氏の鉱山経営と地域の暮らしに関する関連文化財群 【堀氏の鉱山経営と地域文化】	近代まで引き継がれていた鉱山経営と産業文化、そして地域との関わりを再認識し、守り、生かす。	★旧堀氏庭園(楽山荘庭園、和楽園、畑迫病院) ☆堀氏墓所 ☆堀氏所蔵古文書、資料 ☆笹ヶ谷銅山跡 ☆旧川園 ・晩越水力発電所跡 など
野 ・山陰道をはじめとした街道や舟運を軸としたテーマ等の検討	■街道・舟運の遺産を中心とした関連文化財群 【街道・舟運の文化と遺産】	山陰道をはじめとした街道、高津川の舟運、陸と川の道の結節、及びそれらとつながる産業や暮らしの文化を再認識し、守り、生かす。	★山陰道(野坂峠越・徳城峠越) ☆津和野・廿日市街道(参勤交代道) ☆奥筋往還(津和野藩飛地へ) ・津和野藩番所跡 ・塩街道(笹ヶ谷～江崎) ・銅山・馬車街道(〃) ・渡し跡 ☆山口線(SL転車場、石炭練習場、橋脚、トンネル) など
野・山・街 ・歴史的建造物を中心としたテーマ等の検討	■多彩な歴史的建造物を中心とした関連文化財群 【建造物が語る歴史と文化】	津和野の歴史文化を伝える町家や民家などを再認識し、守り、生かす。	★藩邸(馬場先櫓、物見櫓) ★武家屋敷(多胡家主屋、表門) ★商家住宅(財間家住宅、河田商店、下森酒造場、藤井家住宅など) ★農家住宅(竹原家住宅) ★宗教施設(鷲原八幡宮、三渡八幡宮、永明寺、カトリック教会など) ★公共施設(役場、郷土館) ・石見瓦 ・座頭さぐり ・鏝絵 ☆石垣(城跡、館跡、石段、棚田など…一部指定あり) など



旧堀氏庭園



山陰道(野坂峠越)



馬場先櫓



物見櫓



多胡家表門



商家住宅(橋本酒造場)

表1-3-1 関連文化財群の設定（4 / 4）

関連性の視点（切り口） ～設定の考え方～	関連文化財群の内容（概要）		主な文化財 ★：核となるもの（指定・登録） ☆：指定等を目指すもの
	関連文化財群 【名称（テーマ）】	意義・役割	
(主として)野	<p>・農村の伝統文化と信仰に関わるテーマ等の検討</p> <p>■多彩な農村文化を中心とした関連文化財群 【山間に息づく農村文化】</p>	<p>津和野は城下町、天領（2箇所）を除くとその多くが農村であり、相互に関連する伝統文化や、信仰の対象となる文化財について一体として保存・活用する。</p>	<p>★柳神楽と神楽面 ☆石見神楽（4か所） ☆田植え囃子（3か所） ・三霊堂（和紙生産に関する物語と祠：4か所） ・河内神社など各種神社と地鎮申し（多数） ★神社の社叢（多数） ・荒神森と墓、供養塔（多数） ★竹原家住宅（農家住宅） ☆地芝居 ・農村食文化（まんさく、さば、芋煮、しるこ） など</p>
(主として)山	<p>・森林文化と信仰に関わるテーマ等の検討</p> <p>■山と森に関する関連文化財群 【森林文化と信仰】</p>	<p>豊かな森や山々の自然環境を次代に引き継ぐとともに、そこでの暮らしの文化（足跡）や信仰を保存・継承する。</p>	<p>★安蔵寺山の大ミズナラ ☆青野山 ☆安蔵寺山 ・山岳信仰 ・山王権現 ・炭窯跡 など</p>
野・山・街	<p>・通史的な関連文化財群の検討</p> <p>■縄文から現代に至るまでのたゆまない営み 【連綿と続く津和野の歴史と文化】</p>	<p>古代（先史）から現代まで、文化財を通じて、時間軸を意識しながら、津和野の歴史文化と歩み、そして、特色・魅力を体験できるようにする。</p>	<p>★城下町遺跡（近世：周知の遺跡） ★木菌遺跡（中世） ☆高田遺跡（縄文後期～中世） ☆大蔭遺跡（縄文晩期～弥生） ☆大婦け遺跡（奈良・平安） ・喜時雨遺跡（中世） ・山崎遺跡（縄文草創期） ・その他遺跡と出土遺物 など</p>



左鑑八幡宮の社叢



竹原家住宅



安蔵寺山の大ミズナラ

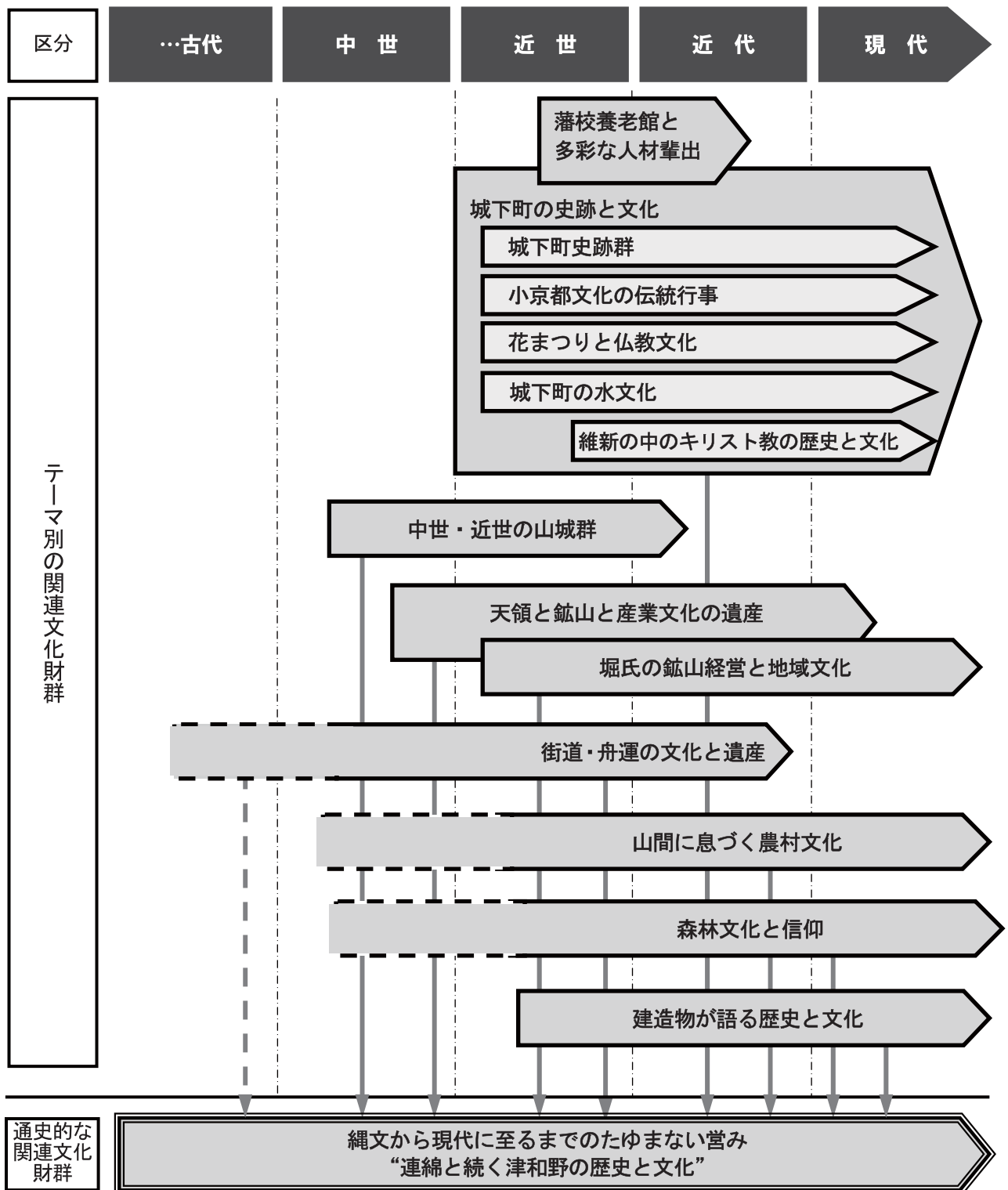


図1-3-2 関連文化財群の時代と通史的な関連文化財群の設定

第2節 関連文化財群における取組方向

関連文化財群における文化財の保存・活用について、個別的な取組の方向及び群（つながり）づくりの方向を明らかにするとともに、各関連文化財群に共通する内容をまとめる。

なお、取組内容については、「第2部 津和野町歴史文化保存活用計画」に記している。

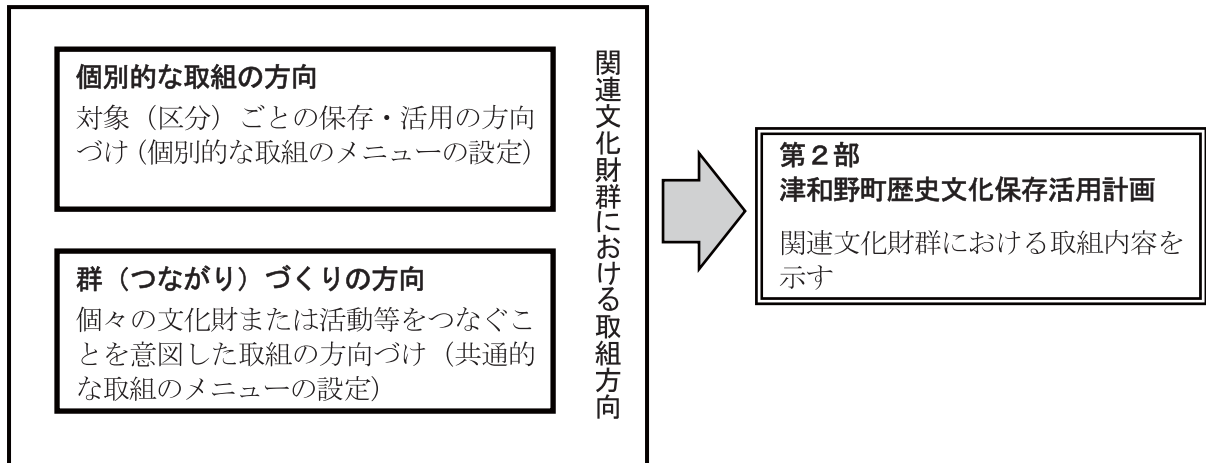


表1-3-2 関連文化財群における文化財の保存・活用の取組方向（1／3）

関連文化財群 【名称】	個別的な取組の方向	群（つながり）づくりの方向	共通する事項 （表末に記載）
■人材育成に関わる 関連文化財群 【藩校養老館と多彩な人材輩出】	<ul style="list-style-type: none"> ○藩校養老館の修理・復元と活用 ○藩校養老館及び教育・文化に関わる文書・史料の調査・研究と保存・活用 ○旧宅・居宅の保存・活用 ○森鷗外旧宅と森鷗外記念館の活用 ○郷土館の整備・充実 ○西周記念館構想の検討 ○墓所・石碑等の調査と保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人材」をテーマとした調査・研究と成果等の活用 ○「人材」をテーマとした広域的な交流・連携（自治体、地域、研究機関、個人など） ○藩校養老館や旧居・旧宅等における「人材育成」に関わる展示・情報提供の充実 	
■城跡を中心とした 関連文化財群 【中世・近世の山城群】	<ul style="list-style-type: none"> ○津和野城跡の保存・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の修復 ・郭、建物跡等の遺構の保存・活用 ・登城路等の遺構の保存・活用 ・馬場先櫓、物見櫓の保存・活用 ・藩御殿等の復元 ・津和野城跡の環境整備：樹木・竹、登山道（登城路）・ルート、サイン、維持管理 など ○その他の中世山城跡の調査と保存・活用（津和野城跡以外） <ul style="list-style-type: none"> ・文化財指定の検討 ・登城路（登山道）の確保・整備 ・維持管理への対応（草刈り…） 	<ul style="list-style-type: none"> ○城跡に関わる調査・研究と成果等の活用 ○城跡めぐりを軸とした周遊ネットワークの形成 ○街道を生かしたネットワークづくり ○山城（跡）に関わる広域的なネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な山城のある地域 ・津和野と関わりの深い山城のある地域 	

表1-3-2 関連文化財群における文化財の保存・活用の取組方向（2／3）

関連文化財群 【名称】	個別的な取組の方向	群（つながり）づくりの方向	共通する事項（表末に記載）					
<p>■城下町に関わる史跡や建造物、 【城下町の史跡と文化】</p> <p>□近世城下町の史跡群に関する関連文化財群 【城下町史跡群】</p>	<p>○城下町関連史跡の調査・研究と文化財指定への対応（保存） ○城下町関連史跡の整備・活用</p>	<p>○城下町史跡群のネットワークづくり ・道の整備（舗装の工夫など） ・サインの整備 ・情報提供：パンフレット、インターネット、携帯電話の活用 など ・ボランティアガイドの育成・支援</p>						
<p>□城下町の民俗芸能に関する関連文化財群 【小京都文化の伝統行事】</p>	<p>○城下町に関わる民俗芸能の継承・活用 ○民俗芸能の衣装・道具及び保管施設等の整備 ○後継者（担い手）の確保・育成</p>	<p>○関連資料の調査・研究と成果等の活用 ○鷺舞神事等の行事のルートや踊る場所等の情報提供の充実</p>						
<p>民俗文化を中心とした関連文化財群 □キリスト教と乙女峠祭に関する関連文化財群 【維新の中のキリスト教の歴史と文化】</p>	<p>○教会、神父館の保存・修理</p>	<p>○津和野町におけるキリスト教に関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用 ○巡礼の道の案内表示の整備・充実</p>						
<p>□花まつりに関する関連文化財群 【花まつりと仏教文化】</p>	<p>○関連寺院の保存・修理</p>	<p>○花まつりに関わる歴史文化の調査・研究と成果等の活用 ○花まつりのルートの紹介 ○花まつりに関わる情報提供や発信</p>						
<p>□水源地と水路に関する関連文化財群 【城下町の水文化】</p>	<p>○水路遺構の保存・活用 ○水路の維持管理 ○庭園や煎茶の文化の継承・活用</p>	<p>○歴史的な水路網の調査と再構築 ○森林の保全 ○河川環境の保全・整備 ○旧城下町における食文化の継承・活用</p>						
<p>■銅山とたたら場跡を中心とした関連文化財群 【天領と鉱山と産業文化の遺産】</p>	<p>○銅山遺構の保存・整備・活用 ○たたら場跡の保存・整備・活用 ○歴史民俗資料館における銅山・たたら場に関する展示の充実 ○鉱山跡やたたら場跡の見学・体験の検討</p>	<p>○広域的な連携による鉱山やたたら場、産業文化に関する調査・研究と成果等の活用 ○たたら場跡の実態調査 ○鉱山と産業文化をめぐるネットワークづくり</p>						
<p>■堀氏の鉱山経営と地域の暮らしに関する関連文化財群 【堀氏の鉱山経営と地域文化】</p>	<p>○旧堀氏庭園の保存・整備・活用 ○旧畑迫病院の保存・整備・活用 ○旧川園の保存・整備・活用 ○堀氏文書の保存・活用 ○晩越水力発電所跡の保存・活用 ○その他堀氏関係の文化財の保存・活用</p>	<p>○堀氏関係の歴史や文化財の調査・研究と成果等の活用 ○堀氏関係の文化財の探訪ネットワークづくり ○堀氏関係の文化財を通じた広域的なネットワークづくり ○地域活動団体との連携とまちづくり</p>						

表1-3-2 関連文化財群における文化財の保存・活用の取組方向（3／3）

関連文化財群 【名称】	個別的な取組の方向	群（つながり）づくりの方向	共通する事項 （表末に記載）
<p>■街道・舟運の遺産を中心とした関連文化財群 【街道・舟運の文化と遺産】</p>	<p>○山陰道の調査・研究（把握）と保存・整備・活用 ○廿日市街道や奥筋往還などの調査・研究（把握）と保存・整備・活用 ○舟運に関わる文化財の調査・把握と保存・活用 ○山口線に関わる文化財の調査・研究と保存・活用</p>	<p>○街道・舟運に関する調査・研究と成果等の活用 ○街道を生かしたネットワークづくり ○舟運・川船の体験の検討 ○広域的な連携による山口線の活用</p>	
<p>■多彩な歴史的建造物を中心とした関連文化財群 【建造物が語る歴史と文化】</p>	<p>○旧城下町における歴史的建造物の保存・活用（藩御殿や門の復元など） ○寺社建築の保存・活用の検討 ○農家・商家などの歴史的建造物の調査・研究と保存・活用の検討 ○石見瓦（赤瓦）の景観の継承・活用 ○石垣等の保存・整備・活用 ○伝統的建造物群保存地区の指定に向けた取組</p>	<p>○歴史的建造物に関わる調査・研究と成果等の活用 ○歴史的建造物と他の地域資源との連携による活用 ○歴史的建造物をめぐるネットワークづくり</p>	
<p>■多彩な農村文化を中心とした関連文化財群 【山間に息づく農村文化】</p>	<p>○石見神楽の継承・活用 ○田植え囃子の継承・活用と棚田等の保全 ○社叢の保存 ○荒神森や信仰などの継承（森、祠、行事など） ○地芝居（木部地区）の継承・活用</p>	<p>○農村の食文化の調査・研究と継承・活用 ○和紙の生産と和紙に関わる物語・行事の伝承 ○農家建築の調査・研究と保存・活用</p>	
<p>■山と森に関する関連文化財群 【森林文化と信仰】</p>	<p>○山や森林の保全・活用 ○山岳信仰やそれに関わる文化財の保存・継承 ○山や森の生業に関わる文化財（炭窯跡など）の保存・活用</p>	<p>○山や森に関わる自然遺産の調査・研究と成果等の活用 ○山や森の生業に関わる文化財の調査・研究とネットワーク的な活用</p>	
<p>■通史的な関連文化財群 【縄文から現代に至るまでのたゆまない営み“連綿と続く津和野の歴史と文化”】</p>	<p>○縄文遺跡などの保存・活用：高田、大蔭地区における縄文の里（仮称）づくりの検討 ○その他、各関連文化財群（テーマ）における取組の推進</p>	<p>○主要な文化財によるテーマと時代をつなぐネットワークづくり</p>	

共通する事項～群（つながり）づくりの方針～

- 住民参加による継続的な文化財の調査
- 住民参加による文化財の保存・活用の体制と人づくり
- 住民参加による文化財の維持管理と活用
- サイン計画の策定（現状把握を含む）とサインのネットワーク的整備
- 情報の提供と受発信の充実
- 公開・活用施設等のネットワークづくり
- テーマ等による周辺地域（自治体）との連携や広域的なネットワークづくり
- 文化財を生かした体験・学習機会の確保や催しなどの開催